

健康・スポーツ科学専攻（修士課程）		分野区分	1年				2年						
			前期		後期		前期		後期				
DP 1 ： 知識・ 理解	1-1	欧米の論文を読んで研究の知識を深め、最新の情報を得ることができる。	論文作成 研究科目	DP	1,2	1,2	1,2	1,2	1,2	1,2	1,2	1,2	1,2
			科目名	課題研究 I				課題研究 II					
	1-2	修士論文の作成に不可欠な「研究のプロセス」、「統計手法」および「研究スタイル」に関する基礎的知識を得ることができる。	共通科目	DP	2	1,2	1,2	2,3					
			科目名	健康・スポーツ科学研究法		身体運動評価学実習							
	1-3	(スポーツ教育学分野) 体育授業・教科外体育・運動部活動などの学校体育、ないしは地域社会の健康・スポーツ教育における実践課題を構造的に理解し、課題解決のための教育的原則、あるいは実践的方法論を幅広く理解できる。	スポーツ 教育学分 野	DP	3	1	1	1	3	1	2	1	
				科目名	保健体育科教育学特論		保健体育科教育学演習						
1-4	(スポーツ科学分野) スポーツに関わる諸問題を社会学、文化人類学、歴史学等の方法によって理解できる。また、健康問題を行動科学的学問領域から探求することができる。また、幅広い年齢層における一次予防を目的とした運動処方や現代社会において要請度の高いフィジカル・レクリエーションに関する課題を探求することができる。さらに、高度な医科学的知識や競技力向上のための優れたコーチングとスポーツ生理学・バイオメカニクス・心理学等の科学的なトレーニング理論が理解できる。	DP						4,5	2	2	1		
		科目名		スポーツ教育学特論									
1-5	(スポーツマネジメント学分野) 人文・社会科学諸領域の学術的知見に基づき、健康・スポーツに関連するマネジメント現象を総合的かつ批判的に理解できる。また、それらを基盤としてスポーツビジネスにおけるイノベーションやスポーツを通じた地域活性化など、スポーツマネジメントの現代的な領域の研究に対応できる知識を身につけている。		DP					2,4,5	2	2	1		
		科目名	スポーツ教育学演習										
1-6	(健康科学分野) 健康科学分野に関連する諸問題を学術的知見に基づき、総合的に理解できるようになる。また、それらを基盤として基礎的研究から臨床的応用へと幅広い研究に対応できる知識を身につけている。		DP	4	2			1,2,4	2	2	1		
		科目名	運動生理学特論		運動生理学演習								
DP 2 ： 技能・ 表現	2-1	学校教育現場もしくは地域における健康・スポーツ教育の課題を設定してデータを収集・解析する技能、ICTを活用して自らの実践現場において実際に指導することのできる技能を身につけている。	DP	3	1	2	1	1,2,3	1	2	1		
			科目名	健康行動科学特論		健康行動科学演習							
	2-2	安全に運動を実施するための運動負荷試験をはじめ効果的な運動プログラムが作成できるようになる。また、身体活動およびストレス・マネジメントなどの健康行動科学に関連する実験・調査と適切な統計処理ができるようになる。さらに、レジャー・レクリエーションの研究で多く用いられる調査・分析方法を身につけている。	DP	1-4	1,2	1	1	1-4	1,2	1,2	1		
			科目名	レジャー・レクリエーション学特論		レジャー・レクリエーション学演習							
	2-3	スポーツ競技における種々の動作分析とデータの数値的解釈ができ、スポーツの傷害予防や競技力向上のための研究に貢献する思考・技術を身につける。さらに、スポーツの適切なコーチングを推進するための目標・課題の設定法を理解し、問題解決手段や計画立案法および効果的なコーチングの実践能力を身につけている。	DP	4	3			1,2		1,2	1		
			科目名	スポーツ心理学特論		スポーツ心理学演習							
	2-4	スポーツイベントの企画・運営、スポーツ組織における戦略策定、地域社会やビジネスにおけるマーケティング・リサーチ、スポーツ組織の経営分析や財務分析など、スポーツマネジメントに関連する現代的な課題領域の解決に資する分析技術や実践能力を身につけている。	DP					4	3				
			科目名	運動制御学特論									
	2-5	健康科学的評価と介入に関する技術を習得し、さらに客観的データに対する統計処理ができる。	DP					1		2			
			科目名	運動制御学演習									
			DP					4		1			
			科目名	スポーツコーチング特論									
DP 3 ： 思考・ 判断	3-1	研究テーマを絞り込んだ社会的背景と研究課題の成果を合理的かつ論理的に思考することができる。	DP						3	2			
			科目名	スポーツコーチング演習									
	3-2	研究課題を解決するための実験・調査の条件を計画的に立案することができ、得られた結果を論理的思考で整理・説明することができる。	DP					2,4	2	1,2	1		
			科目名	スポーツ文化学特論									
			DP					2,4	2	1,2	1		
			科目名	スポーツ文化学演習									
DP 4 ： 態度・ 志向性	4-1	本研究科では、学校教育現場、スポーツ競技選手をはじめ身体機能障害および身体機能回復に関する人、さらにスポーツビジネスの対象となる消費者を対象とした研究を推進している。そのため、人を思いやり、人の立場に立って物事を考えることができる高い倫理観に支えられた規律のある態度で研究に臨み、それぞれの研究目標の実現に向け、主体的・論理的・実行力をもって努力することができる。	DP	1,2,4,5	4	1,2	1	1,2,4,5	4	1,2	1		
			科目名	スポーツビジネス特論		スポーツビジネス演習							
	4-2	動物実験を伴う生命科学は、人の健康・福祉、さらに先端医療の発展などにおいて必要な手段である。本研究科では、「武庫川女子大学動物実験規程」を遵守し、動物実験の適正な運用のもとで研究に臨むことができる。	DP	5	4			5	4	1,2			
			科目名	スポーツマーケティング特論		スポーツマーケティング演習							
			DP					1,2,5	4	1	1		
			科目名	スポーツマネジメント特論									
		DP					1,2,5	4,5	1,2	1			
		科目名	スポーツマネジメント演習										
		DP					1,2,5	4	1	1			
		科目名	スポーツイベント特論										
		DP					1,2,5	4,5	1,2	1			
		科目名	スポーツイベント演習										
		DP	3		1	1	1,2	2	1,2				
		科目名	スポーツ医学特論		スポーツ医学演習								
		DP	6	5		1	1,2,6	5		1			
		科目名	運動機能障害学特論		運動機能障害学演習								
		DP	6	5		1	1,6	5	2	1			
		科目名	分子機能回復学特論		分子機能回復学演習								